

日本建築学会北海道支部 2004 年度第 3 回常議員会議事録

日 時：平成 16 年 10 月 20 日 17:30～19:30

場 所：日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席者：支部長：城

常議員：小幡、菊地、中原、山之内、飯田、杉山、高橋、塚田、鳥谷部、南出、八代

総務委員会委員長：後藤

事務局：菊地

（以下、オブザーバーとして出席）

代議員：野田

配布資料

【報告事項及び承認事項】

2004 年度第 2 回常議員会議事録（案）	・・・・資料 3 - 1
北海道立北方建築総合研究所の施設見学会の実施報告	・・・・資料 3 - 2
支部構造専門委員会主催施工現場見学会の案内	・・・・資料 3 - 3
2004 年度日本建築学会大会（北海道）概要報告	・・・・資料 3 - 4
支部経理報告	・・・・資料 3 - 5
事業委員会からの報告	・・・・資料 3 - 6
北海道建築設計会議活動報告	・・・・資料 3 - 7

【議題】

第 6 期代議員・2005 年本部役員選挙日程	・・・・資料 3 - 8
支部研究発表会準備状況	・・・・資料 3 - 9

【回覧】

理事会・支部長会議報告	・・・・回覧資料 3 - 1
北海道建築設計会議活動報告	・・・・回覧資料 3 - 2
後援依頼について	・・・・回覧資料 3 - 3

議事内容

【報告事項及び承認事項】

2004 年度第 2 回常議員会議事録（案）（飯田 / 資料 3 - 1）

- ・承認された。

理事会・支部長会議報告（支部長より / 回覧資料 3 - 1）

- ・理事会 入会者、学会による国際文化会館本館の保存活用案の作成等についての報告。
- ・支部長会議は 11 月に電子会議で開催の予定。

支部環境工学専門委員会主催見学会の開催と報告（資料 3 - 2）

- ・北海道立北方建築総合研究所の見学会（9 月 1 日）が実施された。参加者 9 名。

支部構造専門委員会主催見学会の開催について（資料 3 - 3）

- ・札幌市厚別清掃工場解体工事の見学会（11 月 11 日）を実施する予定。定員 30 名。

004 年度日本建築学会大会（北海道）終了報告ならびに収支決算報告（資料 3 - 4）

- ・大会は悪天候にもかかわらず、盛会の内に終了した（城）。
- ・大会収支決算書についての説明と報告（後藤）。

支部経理報告（資料 3 - 5）

- ・ 2004 年度支部収支一覧についての説明と報告（後藤）

各事業委員会の進捗状況について（資料 3 - 6）

- ・ 各事業委員会の活動状況についての報告がなされた。また、今回は、効率を考えて各事業委員会の活動状況を、各主査からのメールで直接幹事が入手したが、このような方法を継続して行くかどうか今後検討したい、との説明がなされた（菊池）

各常議員より下記の意見が述べられた。

- ・ 作品の募集方法に関して、現在は本部からのメールと学会支部HPのみであるが、幅広く募集を求めるため、JIA など他団体を経由した募集の呼びかけの可能性について検討できないか（鳥谷部）
- ・ 2004 年度設計競技では、支部入選 2 作品はいずれも全国大会における公開審査対象とはならなかった。大会開催支部としてのアドバンテージを得ることはできないか（山之内）
- ・ 卒業設計審査会を公開審査とはできないか（八代）
- ・ 優秀卒業設計作品は、今年度から Web 方式となったが、やはり実物を見たい（八代）

特色ある支部活動助成への未応募について

- ・ 学術委員会、事業委員会からは、ともに応募はなかった。次年度は早めに対応し、できれば応募したい（城）

北海道建築設計会議活動報告について（資料 3 - 7、回覧資料 3 - 2）

- ・ バリアフリー体験研修（9月27日）、赤レンガ建築展（9月1日～3日）についての報告（南出）

後援依頼について（回覧資料 3 - 3）

- ・ 第 3 回北海道大学北ユーラシア北太平洋地域研究センターシンポジウム（10/22）および第 15 回旭川建築作品発表会（11/17）からの後援依頼があり、後援することで承認された。

その他

- ・ 建築学会災害委員会から、支部の地震災害対応の現状について、災害に対する市民の啓蒙活動についての問い合わせがあり、有珠防災まちづくり研究委員会等の例を挙げ回答した。台風被害情報については、支部長名で被害写真を募集した（城）

【議題】

日本建築学会大賞候補者の推薦について

- ・ 来年 1 月の支部推薦について、次回の常議委員会にて審議したい（城）

次期役員選挙（代議員及び常議員）について（資料 3 - 8）

- ・ 11 月 30 日が推薦・立候補の締め切りで、12 月 10 日が候補者の本部への届出期限である。
- ・ 12 月 1 日に幹事会を開催し、次期代議員及び常議員の候補者案を、各分野のバランスを考慮しながらとりまとめた（城）

上記の提案が承認された・

- ・ 現時点で考えている候補者は下記の通りである。

代議員	石山 祐二	北大
	佐藤 哲身	学園大学
	那須 豊治	岩田建設
	他 1 名程度	
常議員	小篠 隆生	北大
	溝口 光男	室工大

藤原 智史 北電
久保田克巳 道日建
他 4名程度(工業高校、他)

支部研究発表会登録費の値上げについて(資料3-9)

- ・AIJ支部研究発表会は2005年度の収支も赤字となる見通しである。よって登録費および論文費の値上げによって赤字額の縮小を図りたい。特別企画の内容を明確にし、他支部の状況を確認の上、幹事会で値上げ額を審議する。

その他

- ・A I J、J I A 合同会議で、常議員会におけるC P D担当を決めて欲しいとの要望有り。これは、北海道建築設計会議で先に話題としてもらい、その結果を受けて審議したい(城)。
- ・支部功労賞は表彰に必要な予算と対象者を幹事会で検討し、次回常議員会に案を提出する(菊地)。
- ・常議員会の名簿を作成してほしい。
- ・地区委員とのコンタクトの取り方を、もう少し組織だったものとしたい(城)。
- ・支部規定の条文の中には実情に合わないものもあるようだ(例えば専門委員会委員の数)。規定に関し気の付いた点があれば各委員からも指摘してほしい(城)。